

地域に信頼される販売店

ニュースサービス日経西日暮里 所長 西峯行雄

所長の姿勢に影響受け、 全スタッフ参加の清掃活動 地域のパトロールにも協力、防犯に貢献

- 実施時期
平成15年10月～
- 実施地域
東京都荒川区内
- 活動概要

ニュースサービス日経西日暮里所長の西峯行雄さんは、所長に就任した平成15年10月から、都電荒川線6駅の清掃活動を始めた。現在は全スタッフが隔週で参加している。このほか、17年には所長と全スタッフ14人が救命講習を受講し、救命技能認定書（東京消防庁認定）を保有。また、販売所内にAED（自動体外式除細動機）を設置し、朝刊配達時に事故に遭遇した際、適切な処置ができるようにした。

20年に尾久警察署から「サミット地域警察隊」への参加要請を受けて、洞爺湖サミット開催中、地区の警備が手薄になるため、販売所スタッフ3人が地区のパトロールに当たった。

この活動には、地元警察署、消防署、荒川区長、社会福祉協議会などから感謝状が贈られている。

*
西峯行雄（にしみね・ゆきお）

ご挨拶

この度は、日経、その他お申し込みをいただきありがとうございます。当店では地域の皆様にも愛される販売店として、定時配達に力を入れています。お客様への対応にお力をお借りしております。至らない事も多々御座いますが、従業員一同、思いやりと誠心・誠意をこめて配達してまいります。不承不察な事もお知らせいたします。つきましては当店の業務内容と取り組み等を紹介させていただきます。

営業時間	3:00AM～8:00PMとさせていただきます。毎週、時間外ではFAXにて24時間受付しております。3809-0650FAX
スタッフの資格	当店では配達及び集金等お客様訪問時には必ずスタッフ証及び救命技能認定証を身に付けて業務しております。
隔週日曜日に清掃ボランティア	隔週日曜日に都電荒川線荒川駅～町屋2丁目駅間のホームとその周辺の清掃をさせていただきます。6:00AM～7:00AM
お客様へのお届け物（定期）	☆新聞紙回収、日経マガジン、日経インテリジェンス、ホームカレンダーを毎月20日頃新聞と一緒にお届けしております。 ☆夏季、冬季の年2回ご乗換キャンペーンのご案内をしております。 19年12月には、日経特製ビジネス手帳、東山魅力カレンダー、窓計簿等20年8月には、日本経済入門、あつたかパンチ等を予定しております。
映画・観劇・美術館等無料招待のご案内	毎月「販売店だより」を発行しております。チケット等のプレゼントを、ご案内させていただきます。（日本経済新聞に掲載）
寄付金	荒川福祉協議会とユニセフへ小額ではありますが毎月、社員、学生スタッフの献金を送金しております。（19年度は257,000円を送金する事が出来ました）

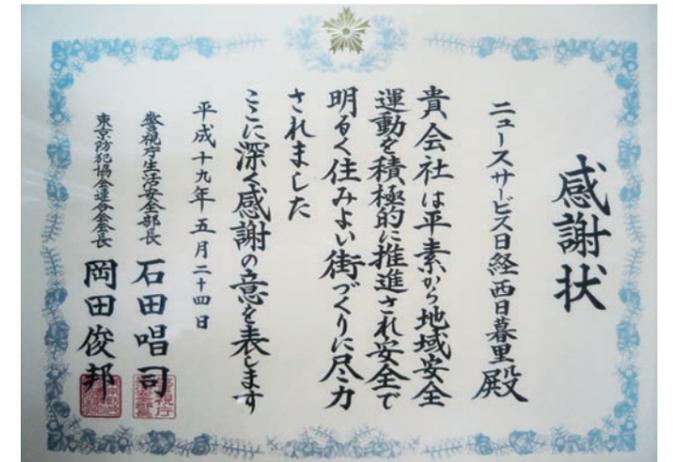
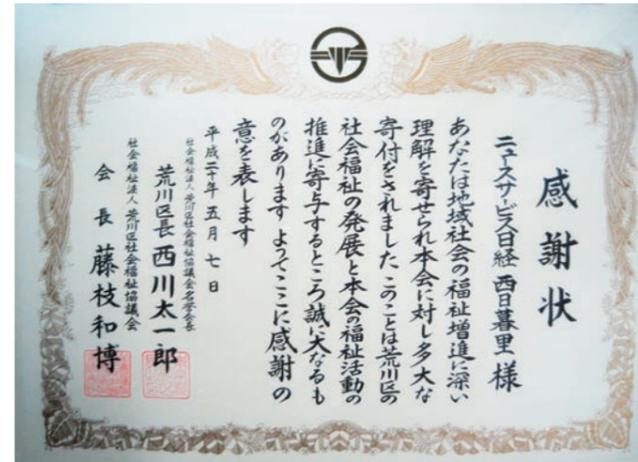
当店ではAED（自動体外式除細動機）を設置しております。及び配達員全員、救命技能認定証の携帯とAEDの講習済です。万一、非難に遭遇した際、救命活動までの間、助す事が出来ません。おまじながら救命講習を致します。（3ヶ月に1回、遠く出張等にて講習を受けられない場合は、心臓に電ショックをあたえ、心臓が本来持っているリズムに戻させる為に行うものです。平成17年度行われた救命講習でも、このAEDで1名の命が救われました。従業員一同

NEWS SERVICE NIKKEI 西日暮里

◀販売所の業務内容を
紹介する折込み
み広告



「AED」設置を示す店外掲示板



駅周辺の清掃活動の様子



販売店の傍ら30年以上続けてきた 消防団活動

中日新聞岩津専売店 店主 時々輪忠正

長年の消防団活動を通じて 地域住民とのつながり深める

●実施時期

昭和40年4月～平成13年5月

●実施地域

愛知県岡崎市

●活動概要

中日新聞岩津専売店店主の時々輪忠正さんは、昭和40年4月から平成13年5月までの36年1か月の間、販売所業務の傍ら消防団活動に従事。販売所が労務難で人手不足のときは、朝の配達業務に従事しながら消火活動や消防訓練を行った。

消防団活動を通じて、地域住民とのつながりを深めている。長年の消防団活動の功勞により、平成20年春の叙勲で瑞宝単光章を受章した。

*
時々輪忠正(じじわ・ただまさ)



受賞者の指揮(右端)による放水訓練



岡崎市長から表彰を受ける受賞者(平成11年10月17日)

春の叙勲

西三河で 23人受章

春の叙勲受章者が二十八日、発表された。地方自治や教育、産業などの各分野で長年努力し、功勞のあった人たち。西三河地方では旭日章一人、瑞宝章二十二人の合わせて二十三人が選ばれた。

受章者

旭日小綬章
【地方自治功勞】櫻並邦夫(元刈谷市長、刈谷市神明町)

瑞宝小綬章
【教育功勞】浅井益夫(元公立高等学校長、岡崎市上六名)

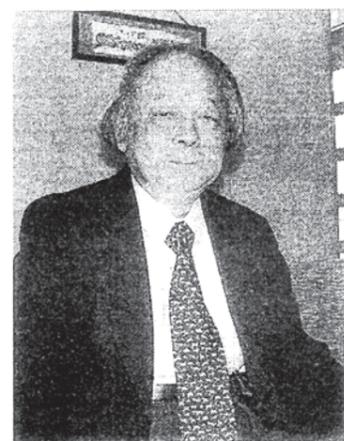
瑞宝双光章
【地方自治功勞】杉浦豊彦(元愛知県議会議事務局長、豊田市寺部町)

瑞宝章
【保健衛生功勞】稲垣清剛(元愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院、高浜市二池町)

瑞宝章
【運輸行政功勞】尾白德行(元中部運輸局船員部長、安城市浜富町)

瑞宝章
【郵政事業功勞】栗田昌泰(元特定郵便局長、岡崎市美合町)

昭和四十(一九六五)年、二十歳のときに入団。平成五年四月から十二年三月まで七年間、団長を務めた。「入団した当初は新聞販売店の仕事が忙しくて、熱が入らなかつた」。本格的に消防団活動をするようになったのは、三十二歳で結婚してから。「妻の手助けで、いつでも出動できるようになった」と感謝する。岩津消防団は岩津、大門、恵田、大樹寺、細川、奥殿の六小学校区がエリア。大きな山火事では、川から遠いため消防車をリレーして消火に当たり、深夜になってようやく消防団活動を振り返る時々輪忠正さん



「入団した当初は新聞販売店の仕事が忙しくて、熱が入らなかつた」。本格的に消防団活動をするようになったのは、三十二歳で結婚してから。「妻の手助けで、いつでも出動できるようになった」と感謝する。岩津消防団は岩津、大門、恵田、大樹寺、細川、奥殿の六小学校区がエリア。大きな山火事では、川から遠いため消防車をリレーして消火に当たり、深夜になってようやく消防団活動を振り返る時々輪忠正さん

東愛知新聞(抜粋) 平成20年4月29日付朝刊

北國新聞北国会 「ふるさとに感謝する地域貢献事業」

北國新聞北国会

創刊110年を記念して 地域に根差した社会貢献事業を展開

●実施時期
平成15年8月5日～

●実施地域
石川県内全域

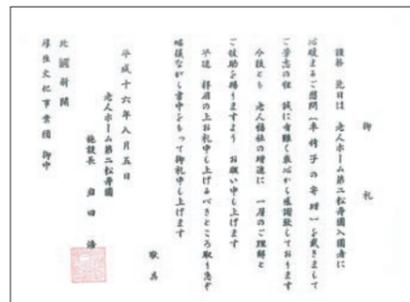
●活動概要
北國新聞北国会は平成15年8月から、北國新聞創刊110年を記念して、会員から募った寄付をもとに社会貢献事業を展開している。北國新聞厚生文化事業団が運営する「北國愛のほほえみ基金」を通じ、県内福祉施設に110台の車いす、県内の全公立小学校231校に「子どもの安全を守る」という観点から1,500本の交通安全横断旗を寄贈。また、19、20年は金沢市の小学校や市以外の自治体に、ボランティアが着用する防犯ベストを贈った。

車いすを贈られた施設からはお礼の手紙が寄せられたり、交通安全横断旗は子どもの安全に役立っていると喜ばれている。防犯ベストは県内市町村全域に行き渡るまで3年間実施する。

*
北國新聞北国会＝北國新聞系統の236販売所で組織。田中六郎（たなか・ろくろ）会長。



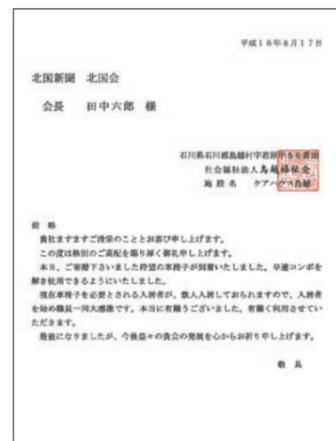
北國新聞北国会から金沢市教育委員会石原教育長へ防犯ベストを寄贈



寄贈先からのお礼の手紙▼



老人ホーム第二松寿園の皆さん

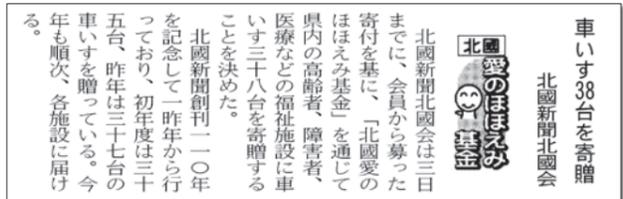


北國新聞掲載記事

下記は、北國新聞朝刊紙面で掲載された写真と掲載記事。平成15年から3年間、社会福祉法人北國新聞厚生文化事業団が運営する「北國愛のほほえみ基金」を通じて、県内の社会福祉施設に対し110台の車椅子を寄贈した。



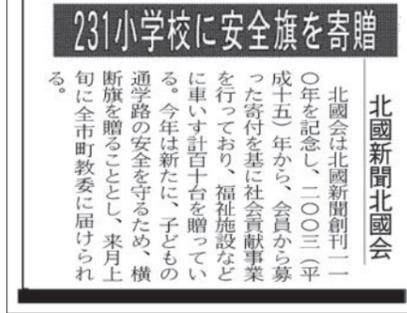
北國新聞
平成15年8月1日付朝刊



北國新聞
平成17年8月4日付朝刊



北國新聞北国会は県内の公立全二三百三十一小学校に交通安全横断旗計千五百本を贈る。二十八日に田中六郎会長が県教委を訪れ、中西吉明教育長に目録を手渡した。中西教育長は「横断旗を持つ大人が通学路に立つことは子どもの安全につながる、地域の結束がより強固となる」と謝辞を述べた。寄贈には北国会の細川美一、加藤峰夫両副会長が同行した。



北國新聞
平成18年7月29日付朝刊

年度別寄贈品状況

年度	寄贈品	数量	摘要
15	車椅子	35台	社会福祉施設等 35施設
16	車椅子	37台	社会福祉施設等 37施設
17	車椅子	38台	社会福祉施設等 38施設
18	交通安全旗	1,500本	県内の全公立小学校(231校)
19	防犯ベスト	500着	金沢市内の学校
20	防犯ベスト	600着	金沢市以外の4市6町



北國新聞
平成16年7月30日付朝刊



北國新聞
平成16年8月8日付朝刊



北國新聞
平成19年8月3日付朝刊

「プルトップを集めて車いすを贈ろう」運動

神戸朝日会

地域の人々の協力により、資源リサイクルを考えた環境保護につながる取り組み

●実施時期

平成18年4月～

●実施地域

兵庫県神戸市、明石市、三田市、三木市、淡路島（神戸朝日会の地域）

●活動概要

神戸朝日会は平成18年4月、アルミ缶の開け口・プルトップを集めて換金し、それを資金に購入した車いすを福祉施設に贈る取り組みを開始した。プルトップの回収は各販売所のミニコミ紙や神戸朝日会のホームページで呼びかけ、集金や映画会など主催イベント開催時に受け取っている。20年7月3日までに回収したプルトップ総重量は6,412キログラム、同年5月12日現在、寄贈した車いすは21台にのぼる。

販売所が資源リサイクルを考えながら、地域の人々と協力して取り組んだ活動で、共同作業は連帯感と達成感を生み、地域の人々とのつながりを作り出した。

*
神戸朝日会＝神戸、明石、三田、三木の4市と淡路島で朝日新聞系統の45販売所で組織。大西弘一（おおにし・ひろかず）会長。

プルトップを集めて車椅子を贈ろう!

みんなのプルトップを集めて車椅子に変わります

プルトップって？ ジュースやペットボトルなどの開け口のアルミの残ったプルトップは、そのまま捨てると資源を無駄にします。これを回収してリサイクルすると、約3%の電力で、アルミニウムを再生できます。電力消費が抑えられ、環境保護にも役立ちます。

なぜプルトップなの？ スチール缶やアルミ缶に比べてプルトップはアルミの純度が非常に高く、リサイクルに適しています。そして、資源を無駄にせず、環境保護にも役立ちます。

リサイクル⇒環境保護にもつながります

ASA 朝日新聞 サービスアンカー 神戸朝日会

朝日ファミリー劇場 ASA

入場引換券

本券1枚で親子2人1組ご招待

劇団「飛行船」公演

忍たま乱太郎

三木市文化会館

8月2日(土)

第1回 午前11時開演(開演は)

第2回 午後2時開演(30分前)

引換券は当日会場まで持参し引き換えて下さい。(開演の1時間前まで)

★上演時間は約1時間45分です。

★演員の都合はあります。

TEL:078-321-1870

※ 抽選は8月10日(日)17時

主催 朝日新聞社

◀プルトップ回収を呼びかける折り込み広告



イベント会場でプルトップを手渡す読者

●きっかけ

神戸朝日会では、「誰かのために役にたいたい」という気持ちをお客様と共有して一緒に何かをしたいと思い、プルトップ回収を始めました。

●現在のアルミ(プルタブ)回収量状況

アルミ今までの総重量	車椅子贈呈数
6,412 kg	21台
(平成20年7月3日現在)	(平成20年5月12日現在)



イベント会場で回収されたプルトップ

●活動状況

平成18年	4月	プルトップ収集活動についての取組開始	
	7月	リサイクル業者へ持ち込み	380kg
	8月17、18日	夏の映画大会(明石・神戸)での回収実施	
	9月29日	新聞情報社制定第1回読者が選ぶ『地域貢献大賞』受賞	
	10月24日	秋の映画大会での回収実施	
	11月	リサイクル業者へ持ち込み	710kg(累計1090kg)
平成19年	12月8日	『市立おもいけ園』(神戸市長田区)	車椅子1台寄贈
	12月16、17日	ルミネリエ撮影会での回収実施	
	3月15日	大英博物館展プレビューでの回収実施	
	3月24日	朝日ファミリー劇場(明石)での回収実施	
	5月	リサイクル業者へ持ち込み	844kg(累計1934kg)
	6月11日	『大地の家』(明石市大久保町)	車椅子1台寄贈
	6月11日	『三田市中央デイサービスセンター』(三田市川除)	車椅子1台寄贈
	6月12日	『三木市社会福祉協議会』(三木市末広)	車椅子1台寄贈
	6月13日	『洲本市健康福祉館』(洲本市港)	車椅子1台寄贈
	6月15日	『ケアホームすばる』(神戸市灘区)	車椅子1台寄贈
	7月31日	朝日ファミリー劇場(三田)での回収実施	
	8月8日	夏の映画大会(明石)での回収実施	
	8月8日	夏の映画大会(神戸)での回収実施	
	8月9日	朝日ファミリー劇場(三木)での回収実施	
	9月15日	秋の映画大会での回収実施	
平成20年	10月15日	リサイクル業者へ持ち込み	1128kg(累計3062kg)
	10月22日	『ウイングコウベ(NPO法人ウィズアス)』(神戸市長田区)	車椅子1台寄贈
	11月20日	『神戸市東灘区社会福祉協議会』(神戸市東灘区)	車椅子1台寄贈
	11月20日	『博由園』(明石市大久保町)	車椅子1台寄贈
	11月22日	『神戸市北区社会福祉協議会』(神戸市北区)	車椅子1台寄贈
	11月22日	『介護デイサービス須磨海浜』(神戸市須磨区)	車椅子1台寄贈
	2月28日	リサイクル業者へ持ち込み	1430kg(累計4492kg)
	4月21日	『ワークホーム明友』(神戸市北区)	車椅子1台寄贈
	4月21日	『オリンピア灘』(神戸市北区)	車椅子1台寄贈
	4月22日	『フローラほくだん』(淡路市野島貴船字平見)	車椅子1台寄贈
	4月23日	『翁寿園』(南あわじ市八木寺内)	車椅子1台寄贈
	4月24日	『にじ作業所』(明石市日富美町)	車椅子1台寄贈
4月24日	『さつき園』(三木市平田)	車椅子1台寄贈	
4月24日	『三田療護園』(三田市東本庄)	車椅子1台寄贈	
5月2日	『リパティール神戸』(神戸市西区)	車椅子1台寄贈	
5月2日	『グループホーム めぐみの丘』(神戸市西区)	車椅子1台寄贈	
5月12日	『多夢の森デイサービスセンター』(神戸市垂水区)	車椅子1台寄贈	
7月3日	リサイクル業者へ持ち込み	1920kg(累計6412kg)	

神戸市立南落合小学校 日渡した。200本分(同市須磨区)の児童らが、ジュースなどの缶のプルトップを集めて、100本のプルトップを2袋入りペットボトルで約100本分集めた。朝日新聞販売所「ASA名」の内田匡祐所長は18日、車いすの児童と仲良しが賛同した。

「車いすをゲットしよう」とチラシを作り、全校児童に配布、全校集金を呼びかけた。約10カ月のプルトップが集まったという。小川さんは「卒業記念に思い出ができました」と話した。

神戸朝日会では06年4月からプルトップ回収活動に取り組んでおり、これまでに11台の車いすを福祉施設などに贈っている。

神戸朝日会とは、神戸市、明石市、三田市、三木市、淡路島で朝日新聞系統の45販売所で組織。大西弘一（おおにし・ひろかず）会長。

朝日新聞 平成20年3月19日付朝刊

平成20年2月

神戸朝日会 様

朝日新聞神戸市東灘区社会福祉協議会
事務局長 中西良一

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。先般は、当協議会善意銀行へあたたかい御座のこともご挨拶をいただき誠にありがとうございました。お寄せいただきました御座は、区内の福祉充実のために有効に活用させていただきます。さて、本来ならお目にかかり感謝状をお渡しすべきところですが、簡便ながら送らせていただきますのでどうぞお納めください。当会は今後も、地域福祉事業推進に積極的に取り組み、ますます地域の皆様へ情報されるよう努めてまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

東灘区社会福祉協議会 担当：中村
☎841-4131 内線415

神戸市東灘区社会福祉協議会からお礼の手紙

